

# 演習Ⅱ

担当者 梅野 巨利

開講時期 通年 単 位 8

## ●講義の概要

受講生それぞれの研究テーマに沿って、報告、議論、論文修正のサイクルを回していく。

## ●講義の到達目標

議論を重ねながら、より良い修士論文を完成させること。

## ●講義計画

受講生の研究報告と議論を中心に進める。論理的な論文の書き方、表現方法、引用注釈のつけ方などの書式ルールについても指導する。

## ●成績評価基準と方法

### ①評価方法

発表、討論、修士論文により総合的に評価します。

### ②評価基準

- ・修士論文テーマに関連した先行研究レビューがしっかりなされているか。
- ・修士論文の内容記述方法が論旨一貫性をもっているか
- ・自分の研究課題をさらに発展させるための問題意識を示しているか。

## ●テキスト又は参考文献

適宜紹介・指示する。

## ●受講上の留意点

研究報告はしっかり準備して臨んでもらいたい。ゼミで修正指導を受けたところは、次回までに確実に改善してくること。